

# ライチ便り No. 8

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2010年3月号～

桜前線の動きがニュースになったかと思えば突然雪が降ったりして、春は前進と後退を繰り返しながらやってくるもののようです。

昨秋は盛りだくさんの交流に忙しく、ライチ便第7号を12月下旬にやっと発送しましたが、その後は正月、春節（旧正月）と別な意味で忙しい季節に入り、福岡・広州の交流は一息ついた感があります。

## 日本語弁論大会福岡市長賞受賞者 藍鴻浩さんの“福岡の休日”

昨年11月に広州市で行われた日本語弁論大会で福岡市長賞を獲得した、広東外語外貿大学3年生の藍鴻浩さんが、副賞の「福岡ホームステイの旅」を得て、2月20日～27日、福岡での休日を楽しみました。滞在中には中国語学習者を対象に、中国語と日本語で、故郷梅州の客家文化について話したり、市内見物や博多人形の絵付け体験などを行いました。26日には、ライチ倶楽部の団体会員である博多港ふ頭(株)の若い職員渋谷さんと張さんの案内で、太宰府と九州国立博物館も見学しました。



博多人形絵付けの指導を受ける藍さん



満開の飛び梅の前で

藍さんのように日本文化に興味を持ち日本語を学んでいる学生に、福岡のことを知ってもらい、好きになってもらえると嬉しいですね。こんな若人がもっと増えることを期待しています。

## 「千葉由紀子さん広州市榮譽市民を祝う会」が開かれました

2月25日の夕刻、福岡広州ライチ倶楽部と福岡市国際部の有志の方々が発起人となって標記の“祝う会”が開催されました。かく言う私が祝って頂いた当人なので、この原稿は少々書きづらいのですが、やはり会員の皆さまにご報告とお礼を申し上げなければ、と考え記事にした次第です。皆さま本当に有り難うございました。

この日は、当ライチ倶楽部の河部会長（福岡商工会議所会頭）が発起人を代表して冒頭にご挨拶してくださり、光安福岡市議会議長、中国総領事館の郭宝忠首席領事、高田副市長が次々に祝辞を述べてくださいました。また、途中飛び入りで西日本新聞社の川崎社長と吉田福岡市長も登壇され、祝いのお言葉をいただきました。因みに郭首席領事以外は皆さまどなたも、我がライチクラブの会員です。本当に頼もしい限りです。

終盤は福岡市女性翼の会のリードでどんたく囃子の踊りが始まり、大いに盛り上がったところで、江頭副会長の手一本で締めて頂きました。謝謝大家！



椿信子さんによる花束贈呈



江頭副会長の博多一本締め

## ～どんたくパレードへのお誘い～

当倶楽部の団体会員である福岡市女性翼の会では、毎年チームを組んで“どんたくパレード”に参加していますが、「今年はライチ倶楽部の皆さんも一緒に！外国の方にも呼びかけて、賑やかにやりましょう！」というお誘いを受けています。上記の“祝う会”でこの話が出て、即座に「よーし、出るぞオ！」と反応した方もあったとか。

昨年は広州市からも対外友好協会の団が参加されました。皆さんと一緒に盛り上がり、不景気風を吹き飛ばしませんか？

参加ご希望の方は、事務局の千葉までご一報下さい。

\*今年度会費の振込をお願いします。個人：5000円 団体：10000円 です。

\*会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。連絡先：[chiba.y01@city.fukuoka.lg.jp](mailto:chiba.y01@city.fukuoka.lg.jp) または [y-chiba\\_naga@tnb.bbiq.jp](mailto:y-chiba_naga@tnb.bbiq.jp)